

NEC Expressサーバ
Express5800シリーズ

Express5800/S70
ユーザーズガイド

商標について

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。インテル、Intel、Celeron、およびインテルCoreは米国Intel Corporationの登録商標です。PCI EXPRESSはPeripheral Component Interconnect Special Interest Groupの商標です。Linux[®] は、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意（必ずお読みください）

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。
また、本文中の名称については本書の「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。
このユーザーズガイドには装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています（本体に印刷されている場合もあります）。
ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



警告







人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



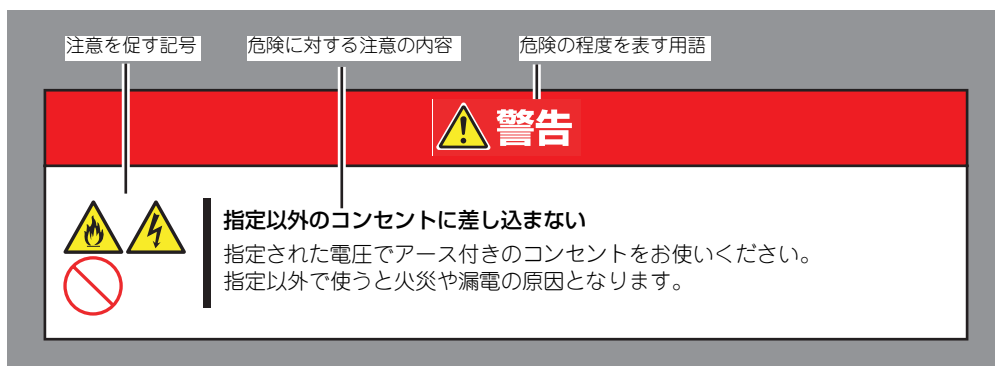
注意

火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

| | | | |
|---|--------------|---|--|
|  | 注意の喚起 | この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。 | (例)  (感電注意) |
|  | 行為の禁止 | この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。 | (例)  (分解禁止) |
|  | 行為の強制 | この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。 | (例)  (電源プラグを抜け) |

(ユーザーズガイドでの表示例)



本書と警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

| | | | |
|--|----------------------------|--|---------------------------|
| | 発煙または発火のおそれがあることを示します。 | | 感電のおそれのあることを示します。 |
| | 指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。 | | レーザー光による失明のおそれがあることを示します。 |
| | 高温による障害を負うおそれがあることを示します。 | | 特定しない一般的な注意・警告を示します。 |
| | 破裂のおそれがあることを示します。 | | |

行為の禁止

| | | | |
|--|---|--|---|
| | 本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。 | | 指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。 |
| | 火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。 | | ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。 |
| | 水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。 | | 特定しない一般的な禁止を示します。 |


行為の強制




| | | | |
|--|--|--|--|
| | 本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。 | | 特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。 |
| | 必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。 | | |


安全上のご注意



本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明についてはiiiページの『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

 **警告**

| | |
|---|---|
|  | <p>人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない</p> <p>本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。</p> |
|  | <p>煙や異臭、異音が生じたまま使用しない</p> <p>万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。</p> |
|  | <p>針金や金属片を差し込まない</p> <p>通気孔や光ディスクドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。</p> |

 **注意**

| | |
|---|---|
|  | <p>日本国外で使用しない</p> <p>本装置は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。この装置を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。</p> |
|  | <p>装置内に水や異物を入れない</p> <p>装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、ただちに電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。</p> |

電源・電源コードに関する注意事項

警告



ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



アース線をガス管につながない

アース線は絶対にガス管につながないでください。ガス爆発の原因になります。



電源プラグを接続したままアース線の取り付けや取り外しをしない

アース線の取り付け / 取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源を OFF にしても電源プラグを接続したままアース線に触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

注意



指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧でアース付きのコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。

また、クラス 0I のアース線付きの AC コードセットを使用する場合は、接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。



たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



電源ケーブルを持って引き抜かない

ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

! **注意**

指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されているもしくはオプションにて購入した電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。



- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを踏まない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードをステーブラなどで固定しない
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)



添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

⚠ 注意



フロントマスクを持って運ばない

本装置を運ぶときはフロントマスクに手をかけて持ち上げないでください。フロントマスクが外れ、装置を落としたり、フロントマスクを壊したりするおそれがあります。



指定以外の場所に設置・保管しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。



腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



電源プラグを差し込んだまま本装置内蔵用オプションやインタフェースケーブルなどの取り付けや取り外しをしない

オプションの取り付け / 取り外し、インタフェースケーブルの取り付け / 取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源を OFF にしても電源プラグを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。











指定以外のインタフェースケーブルを使用しない


インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。




- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

 **警告**

| | |
|--|---|
|   | <p>自分で分解・修理・改造はしない</p> <p>本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。</p> |
|   | <p>光ディスクドライブの内部をのぞかない</p> <p>光ディスクドライブはレーザーを使用しています。電源が ON になっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。</p> |
|   | <p>電源プラグを差し込んだまま取り扱わない</p> <p>お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け / 取り外し、装置内ケーブルの取り付け / 取り外しは、本装置の電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源を OFF にしても、電源プラグを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。</p> <p>また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。</p> |
|  | <p>電源プラグを接続したままアース線の取り付けや取り外しをしない</p> <p>アース線の取り付け / 取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源を OFF にしても電源プラグを接続したままアース線に触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。</p> |

 **注意**

| | |
|--|--|
|  | <p>高温注意</p> <p>本装置の電源を OFF にした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け / 取り外しを行ってください。</p> |
|   | <p>中途半端に取り付けない</p> <p>電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。</p> |

運用中の注意事項

注意



雷がなったら触らない

雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本装置には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。



ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。



装置の上にものを載せない

本体が倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。



光ディスクドライブのトレイを引き出したまま放置しない

引き出したトレイの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。



ヘッドフォンを耳にあてたまま接続しない

ヘッドフォンを耳にあてたままヘッドフォン端子に接続しないでください。耳を痛めるおそれがあります。また、接続前にボリュームが大きくなっていないことを確認してください。



巻き込み注意

本装置の動作中は背面にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

警告ラベルについて

本体内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが表示されています(警告ラベルは本体に印刷されているか、貼り付けられている場合があります)。これは本体を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れている、本体に印刷されていないなどしているときは販売店にご連絡ください。

|  注意 CAUTION | |
|---|---|
| <p>オプションの取付け、取外し時は電源プラグをコンセントから抜き、外部装置と接続しているケーブルを外して下さい。</p> <p>Disconnect all AC power cords from both system and external peripherals prior to installing/removing options.</p> | <p>電源プラグを抜く </p> <p>感電注意 </p> |
| <p>ネジは本体内部へ落とさない様、十分ご注意ください。</p> <p>Do not drop any screws inside the system.</p> | <p></p> |
| <p>ボード及びオプション機器の接続の際は、必ずユーザズガイドを参照し、正しく接続して下さい。誤った接続は、故障や火災の原因となります。</p> <p>Refer to "User's Guide" when option boards or peripherals are installed. Incorrect installations may result in damage to the system and lead to accidents.</p> | <p></p> |
| <p>装置の持ち上げ、移動の際は、装置の底面をしっかりと持ち上げて下さい。</p> <p>Firmly hold the bottom of the system when required to lift and carry the system.</p> | <p></p> |
| <p>高温になるコンポーネントがあります。十分に冷えてから触れるようにして下さい。</p> <p>As some components may become very hot during system operation, give ample time to allow cooling as well as use precaution when handling internal components immediately after powering down.</p> | <p></p> |
| <p>電源を切ってもバッテリーで稼働している部品があります。</p> <p>Some internal components may still be operational on battery power.</p> | <p></p> |
| <p>保守をするまえに各々のコンポーネントの取り扱い説明書をお読み下さい。</p> <p>Refer to instruction manuals for this system as well as options prior to maintenance.</p> | <p></p> |



取り扱い上のご注意

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本装置の誤動作や故障の原因となります。



- BIOS SetupにてBIOS設定を変更した場合の最初のリブート時は、一旦電源OFFされてから自動で電源ONとなる場合があります。
- オンボードグラフィックスアクセラレータを使用する場合は、オプションのグラフィックスアクセラレータボードは使用できません。

- 本装置が正常に動作できる場所に設置してください。詳しくは10ページを参照してください。
- 周辺機器へのケーブルの接続/取り外しは本体の電源をOFFになっていることを確認し、電源プラグをコンセントから外した後に行ってください。
- AC入力電圧が100Vのコンセントに添付の電源コードを接続してください。
- 本体の電源を一度OFFにした後、再びONにするときは10秒以上経過してからにしてください。無停電電源装置（UPS）に接続している場合も10秒以上経過してからONになるようにスケジュールの設定をしてください。
- OS以外(POST、BIOS Setup、DOS等)の画面で、POWERスイッチにて電源OFFさせる場合に、POWERスイッチを数秒間押し続けると、電源OFF後に再度装置が起動する場合があります。
- 本体を移動する前に電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 標準装備の光ディスクドライブで音楽CDを再生する場合は、デジタル再生で使用するか、Windows Media Playerを使用して再生してください。
- 光ディスクドライブは、ソフトウェアのコマンドからトレイまたはメディアをイジェクトできる場合があります。ソフトウェアからイジェクトする場合は、フロントドアが開いていることを確認してからコマンドを実行してください。フロントドアを閉じたままコマンドを実行するとフロントドアにトレイやメディアがぶつかってイジェクトできず、エラーが起きるだけでなく装置自身の故障の原因となります。
- 定期的に本体を清掃してください（清掃は89ページで説明しています）。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として、無停電電源装置等を使用することをお勧めします。
- CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクにつきましては、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。
- ボリュームプロパティのマイクトーン設定で、Front Panel Microphoneの選択項がありますが、機能しませんので選択しないでください。

- オプションのグラフィックスアクセラレータボードを取り付けた場合、グラフィックスアクセラレータボードに添付の取扱説明書に従い、ディスプレイドライバをインストールしてください。
- 次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。
 - － 装置の輸送後
 - － 装置の保管後
 - － 装置の動作を保証する環境条件（温度：10℃～35℃・湿度：20%～80%）から外れた条件下で休止状態にした後

システム時計は毎月1回程度の割合で確認してください。また、高い時刻の精度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ（NTPサーバ）などを利用して運用することをお勧めします。

システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お問い合わせの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。
- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。

装置を保管する場合は、保管環境条件（温度：-10℃～55℃、湿度：20%～80%）を守って保管してください（ただし、結露しないこと）。
- 本装置、内蔵型のオプション機器、バックアップ装置にセットするメディア（テープカートリッジ）などは、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤作動や故障の原因となります。保管した大切なデータや資産を守るためにも、使用環境に十分になじませてからお使いください。

参考：冬季（室温と10度以上の気温差）の結露防止に有効な時間

| | |
|--------|---------|
| ディスク装置 | ：約2～3時間 |
| メディア | ：約1日 |
- オプションは本体に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本体に取り付けや接続ができていても正常に動作しないばかりか、本体が故障することがあります。
- オプションは弊社の純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクドライブには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。
- 本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体の各部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい作業姿勢で

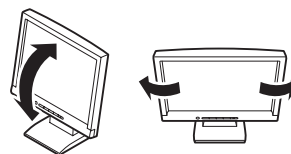
コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体の中のどの部分にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。

『悪い作業姿勢』、たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイ装置の画面に顔を近づけたままの状態で行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。



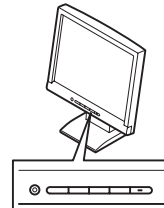
ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



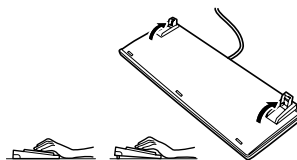
画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ（ブライトネス）・コントラストを調節できる機能を持っています。年齢や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



キーボードの角度を調節する

オプションのキーボードには、角度を変えることができるよう設計されているものもあります。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本製品の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について




本書は、本製品を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。セットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常に本体のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、オペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

| | |
|---|---|
|  重要 | 装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。 |
|  チェック | 装置やソフトウェアを操作する上で確認しておく必要がある点を示します。 |
|  ヒント | 知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。 |

本書の構成について

本書は2つの編から構成されています。それぞれの編では次のような説明が記載されています。なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本製品を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

第1編 ハードウェア編

本装置のハードウェアに関する説明をしています。各部の名称やその機能、設置にふさわしい場所に関する説明、オプションの取り付け手順、BIOSセットアップユーティリティの操作方法について知りたいときに参照してください。

第2編 運用・保守編

本装置を運用する上で知っておいていただきたい情報が記載されています。また、「故障かな?」と思ったときは、本装置の故障を疑う前に参照してください。

本書のダウンロード先

CD-ROMに収められているオンラインドキュメントは、下記のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.nec.co.jp/s70/>

本書に記載の「光ディスクドライブ」について

本装置には以下のドライブが標準で装備されています。本書ではこれらのドライブを「光ディスクドライブ」と記載しています。

- DVD-ROMドライブ

CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクにつきましては、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。

付属品の確認

梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



付属品について

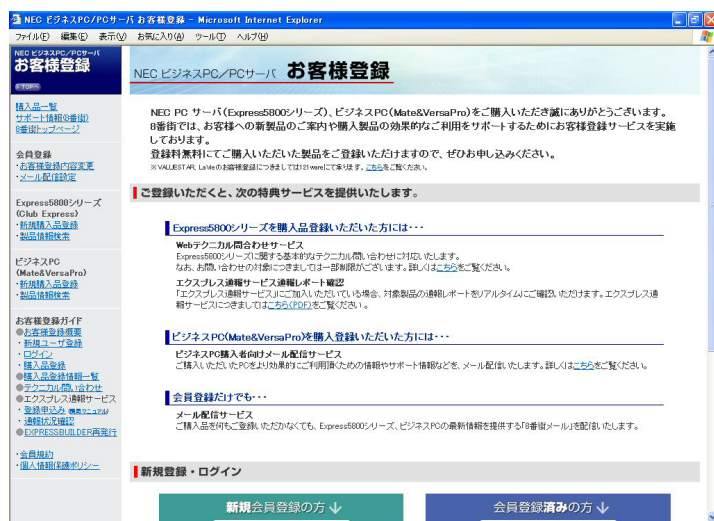
- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、装置が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- 添付品の「ユーザーズガイド」CDは、紙封筒に包装されています。また、「ユーザーズガイド」CDを紛失し、再購入を希望されるときは、販売店へご相談ください。
- 添付のCD-ROMは使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社にお問い合わせください。

お客様登録

NECでは、製品ご購入のお客様に「Club Express会員」への登録をご案内しております。Club Expressのインターネットホームページ

<http://club.express.nec.co.jp/>

にてご登録ください。



「Club Express会員」のみならず、ご希望によりExpress5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスを、無料で提供させていただきます。サービスの詳細はClub Expressのインターネットホームページにて紹介しております。ぜひ、ご覧ください。

第三者への譲渡について

本体または、本体に添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

- **本体について**

第三者へ譲渡（または売却）する場合には、装置に添付されている説明書一式（本書も含む）を一緒にお渡しください。



ハードディスクドライブ内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクドライブに保存されている大切なデータ（例えば顧客情報や企業の経理情報など）が第三者へ漏洩することのないようお客様の責任において確実に処分してください。

Windowsの「ゴミ箱を空にする」操作やオペレーティングシステムの「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクドライブに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア（有償）またはサービス（有償）を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡（または売却）し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

- **添付のソフトウェアについて**

添付のソフトウェアを第三者に譲渡（売却）する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること

消耗品・装置の廃棄について

- 本体およびハードディスクドライブ、CD-ROMやオプションのボード、バッテリーなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。なお、装置添付の電源ケーブルにつきましても、他装置への転用を防ぐため、本体と一緒に廃棄してください。



- 本体のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄（および交換）についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。
- ハードディスクドライブやバックアップデータカートリッジ、その他、書き込み可能なメディア（CD-R/CD-RWなど）に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。

- 本体の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります（冷却ファン、本体内蔵のバッテリー、内蔵光ディスクドライブなど）。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。

装置の輸送について

本体およびオプションなどには、リチウム金属電池あるいはリチウムイオン電池を使用しています。リチウム電池の輸送に関しては、航空・海上輸送規制が適用されますので本体およびオプションの航空機、船舶等での輸送については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社へお問い合わせください。

目次

| | |
|-----------------------------|-------|
| ▲ 使用上のご注意（必ずお読みください）..... | iii |
| 安全にかかわる表示について..... | iii |
| 本書と警告ラベルで使用する記号とその内容..... | iv |
| 安全上のご注意..... | v |
| 一般的な注意事項..... | v |
| 電源・電源コードに関する注意事項..... | vi |
| 設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項..... | viii |
| お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項..... | ix |
| 運用中の注意事項..... | x |
| 警告ラベルについて..... | xi |
| 取り扱い上のご注意..... | xii |
| 健康を損なわないためのアドバイス..... | xiv |
| はじめに..... | xv |
| 本書について..... | xv |
| 本文中の記号について..... | xv |
| 本書の構成について..... | xvi |
| 本書のダウンロード先..... | xvi |
| 本書に記載の「光ディスクドライブ」について..... | xvii |
| 付属品の確認..... | xviii |
| お客様登録..... | xviii |
| 第三者への譲渡について..... | xix |
| 消耗品・装置の廃棄について..... | xx |
| 装置の輸送について..... | xx |
| 目次..... | xxi |

1 ハードウェア編

| | |
|---------------------|----|
| 各部の名称と機能..... | 2 |
| 本体前面..... | 2 |
| 本体背面..... | 4 |
| 本体内部..... | 6 |
| マザーボード..... | 7 |
| ランプ表示..... | 8 |
| POWER/SLEEPランプ..... | 8 |
| DISKアクセスランプ..... | 8 |
| 1000/100/10ランプ..... | 9 |
| LINK/ACTランプ..... | 9 |
| 設置と接続..... | 10 |
| 設 置..... | 10 |
| 横置きの場合..... | 12 |
| 接 続..... | 13 |
| インタフェースケーブル..... | 14 |
| 電源コード..... | 16 |
| 基本的な操作..... | 17 |
| 電源のON..... | 17 |

| | |
|------------------------|----|
| POSTのチェック | 18 |
| POSTの流れ | 18 |
| POSTのエラーメッセージ | 20 |
| 電源のOFF | 21 |
| 省電力モードの起動 | 21 |
| 光ディスクドライブ | 22 |
| 使用上の注意 | 22 |
| ディスクのセット/取り出し | 23 |
| ディスクが取り出せない場合の手順 | 24 |
| ■ディスクの取り扱いについて | 25 |
| ■光ディスクドライブの取り扱いについて | 25 |
| ■本体装置の設置環境について | 25 |
| 内蔵オプションの取り付け | 26 |
| 安全上の注意 | 26 |
| 静電気対策について | 27 |
| 取り付け/取り外しの準備 | 28 |
| 取り付け/取り外しの手順 | 29 |
| レフトサイドカバー | 29 |
| フロントマスク | 32 |
| 3.5型ハードディスクドライブ | 34 |
| PCIボード | 39 |
| DIMM | 44 |
| ファイルデバイス | 49 |
| ケーブル接続 | 52 |
| インタフェースケーブル | 52 |
| 光ディスクドライブの接続 | 52 |
| 標準的な接続 | 53 |
| ハードディスクドライブの増設 | 54 |
| 5.25型デバイスの接続 | 54 |
| システムBIOSのセットアップ(SETUP) | 55 |
| 概要 | 55 |
| 起動 | 56 |
| キーと画面の説明 | 57 |
| 設定例 | 58 |
| パラメータと説明 | 61 |
| Main | 61 |
| Advanced | 65 |
| Security | 73 |
| System Hardware | 76 |
| Boot | 79 |
| Exit | 80 |
| 増設ボードのコントローラに対する設定 | 81 |
| リセットとクリア | 82 |
| リセット | 82 |
| 強制電源OFF | 82 |
| CMOSメモリのクリア | 83 |
| 割り込みラインとI/Oポートアドレス | 85 |

2 運用・保守編

| | |
|--------------|----|
| 日常の保守 | 88 |
| アップデートの確認・適用 | 88 |
| バックアップ | 88 |

| | |
|-----------------------|-----|
| クリーニング..... | 89 |
| 本体のクリーニング..... | 89 |
| キーボード/マウスのクリーニング..... | 90 |
| ディスクのクリーニング..... | 90 |
| システム診断..... | 91 |
| システム診断の内容..... | 91 |
| システム診断の起動と終了..... | 91 |
| 障害時の対処..... | 94 |
| エラーメッセージ..... | 94 |
| POST中のエラーメッセージ..... | 94 |
| トラブルシューティング..... | 98 |
| 本体について..... | 98 |
| 保守ツール..... | 102 |
| 保守ツールの起動方法..... | 102 |
| 保守ツールの機能..... | 103 |
| 移動と保管..... | 105 |
| ユーザーサポート..... | 106 |
| 保証について..... | 106 |
| 修理に出される前に..... | 107 |
| 修理に出される時は..... | 107 |
| 補修用部品について..... | 107 |
| 保守サービスについて..... | 108 |
| 情報サービスについて..... | 109 |
| 付録A 仕様..... | 110 |
| 付録B 保守サービス会社網一覧..... | 111 |
| 索引..... | 115 |

